

令和4年度 防災訓練等の実績について

1 目的

南海トラフ巨大地震や風水害などの発生に備え、図上訓練及び実動訓練などを計画的に行い、災害対策本部の運営及び関係機関との連携など、災害応急対策に必要な体制を整備する。

また、事前準備から訓練に至るまでの防災関係機関相互の議論、市町村や関係機関が主催する防災訓練への参加などを通じた“顔の見える関係”を踏まえた、より強固な連携を構築するとともに、住民参加型の訓練により、自助、共助による地域防災力の強化を図る。

2 基本的な考え方

- (1) 想像して議論する
- (2) 課題の洗い出し
- (3) 意識啓発等

3 概要

訓練名		実施時期等	対象等	内容等
図上訓練	風水害	R4.5.26	県職員、防災関係機関	風水害を想定し、災害対策本部の基礎的な災害対応力を強化するための訓練
	南海トラフ巨大地震・津波	R4.8.9	県職員、防災関係機関	南海トラフ巨大地震を想定し、発災3日目の状況に応じた訓練
みやざきシェイクアウト		R4.10.4 ～11.30 (一斉訓練日: R4.11.4)	県民	大規模地震発生時の安全確保行動をそれぞれの自宅や学校、職場などで実施 (県庁では、一斉訓練日に実施)
総合防災訓練		R4.11.6	県職員、防災関係機関、県民等	南海トラフ巨大地震を想定し、関係機関の初動対応や連携について確認する実践的な実動訓練
南海トラフ巨大地震・津波対策図上訓練研究会		R4.11.14	県職員、防災関係機関	南海トラフ巨大地震・津波対策図上訓練の成果と課題を検討
総合防災訓練研究会		R5.1.16	県職員、防災関係機関	総合防災訓練の成果と課題を検討